

薬物乱用防止講座 (12/5)

1. 目的 薬物乱用を未然に防止する正しい知識と薬物乱用のない安全な社会を実現するために、一人一人が薬物を拒絶する意識を持つことの大切さを学ぶ。

2. 日程

6:55 ~ 7:00	講師紹介
7:00 ~ 7:50	講演(50分)
7:50 ~ 8:00	お礼の言葉 感想等記入

*長野ダルクとは、薬物依存と真剣に向き合い、薬物依存から回復し社会的にも回復したいという人達の手助けをする“リハビリ施設”です。

3. 内容 なぜ、私はダルクにいるのか = 薬物乱用のない安全な社会を実現するため =

薬物乱用防止講座 チェックドリル * 出口提出。未提出の場合は欠席になります。

クラス 氏名 _____

1. 薬物に対する印象は？

1度くらいなら良い	YES	NO
犯罪にまきこまれる	YES	NO
1度使うとやめられなくなる	YES	NO
心も体もボロボロになる	YES	NO
その他		

2. 薬物使用に対するあなたの考えに近いものに をして下さい。

絶対に使用してはいけないし、許されない	
心や体に害がないなら1回くらい使ってもかまわない	
他人に迷惑をかけないから、個人の自由だ	

3. 薬物使用と薬物所持(持っていること)による罰はどれでしょう？

1回だけなら罰せられない	
持っているだけなら罰せられない	
使っても持っていても罰せられる	

4、「薬物依存症になると、もう治らないの？」と友人に聞かれました。

あなたは、正しい回答をしてあげましょう。

()に入る言葉を下から選び記入し、正しい回答にしてください。

一度依存症になると、全く立ち直れないというわけではありませんが、依存症は、()が変化してしまうため、依存症の体質は元へは戻りません。

この依存のために、薬物を止めても、再び()を乱用したいという欲望が繰り返しあります。その欲望に耐えるため、本人の大変な努力と周囲の理解と協力が必要になります。

さらに、()などの専門家の援助が必要になる場合もあります。10年以上薬物を止めても、再び乱用すると、被害妄想などの精神病症状がもっと激しくです。

依存症の体質は、()ことはできませんが、医療機関やダルクの支援の受け、薬物依存症から立ち直った人が徐々に増えていることも事実です。

しかし、薬物依存症者は薬物を目についたり、乱用仲間に会ったり、売人と接触すると再び薬物を乱用したいと強い欲望があるので、()から離れることが大切です。

薬物	完全に消し去る	脳	乱用仲間や地域	医師
----	---------	---	---------	----